

平成19年10月12日

各位

東京都港区虎ノ門2丁目10番1号

新日鉱グループ

**日鉱金属株式会社**

金属加工カンパニー

平成19年下期の金属加工製品の生産予定について

品目	単位	平成19年下期 生産予定	平成19年上期 生産実績見込	平成18年下期 生産実績
伸銅品	t/期 (t/月)	23,340 (3,890)	20,580 (3,430)	19,776 (3,296)
特殊鋼 製品	t/期 (t/月)	960 (160)	960 (160)	1,494 (249)
合計	t/期 (t/月)	24,300 (4,050)	21,540 (3,590)	21,270 (3,545)
(参考) 製品長さ計	万m/期 (万m/月)	3,966 (661)	3,828 (638)	3,720 (620)

【解説】伸銅品需要は、携帯電話等の情報通信機器、FPD等のデジタル家電向けを中心に、本年春先を底として、その後緩やかながらも回復に転じてまいりました。19年下期も堅調な需要が継続すると見込まれます。電子部品は、小型・低背化の動きが進展しており、素材に対しても、一層の薄肉化に加え、高強度・高導電性・高屈曲性等の機械特性への要求が更に強まってきております。これらの要求品質を兼ね備えた当社のハイパーシリーズ（りん青銅・チタン銅・コルソン合金）、特殊圧延銅箔への需要は、今後着実に増加していくものと見込まれ、伸銅品については対前期比13%増の生産を計画しております。

特殊鋼製品については、ブラウン管向け素材が市場縮小に伴い需要減となる一方、当社が開発に注力してきた高機能ステンレス材の拡販により、前期並の生産を計画しております。

この結果、金属加工製品全体では、前期比13%増の24,300t/期の計画となりました。

以上

お問い合わせ先： 日鉱金属株式会社  
総務部広報担当 河田， 檜崎  
TEL：03-5573-7223